

日本学術会議公開シンポジウム

持続可能な未来のための
教育と人材育成の推進に向けて

平成26年9月14日(日)
13時～17時

日本学術会議フューチャー・アースの推進に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会

提言「持続可能な未来のための教育と 人材育成の推進に向けて」 背景

地球環境問題が世界的に広く知られるようになったのは、1960年代後半以降である。1970年代に入ると間もなくローマクラブの「成長の限界」が刊行され、1980年代には地球環境研究が本格化し始めた。それから30年が経過し、これまで続けられてきた地球環境研究が、ICSU(国際科学会議)やISSC(国際社会科学協議会)などが主導するフューチャー・アース構想の下に、再編成されつつある。それは持続可能な世界の実現に向けて行われてきた幾多の研究の成果にも関わらず、地球環境問題がますます深刻化しているとの認識を背景に、従来の研究体制の抜本的な改善を目指すものである。この構想で注目されることの一つに、持続可能な未来の実現に向けた教育と人材育成の改善・強化がある。それは地球環境と世界の理解に直接関わる分野の教育はもとより、より広い自然科学・人文社会科学教育の再構築を目指すものである。その推進に向け、現状と問題点を指摘し、提言を行う。

提言

「持続可能な未来のための 教育と人材育成の推進に向けて」

(1) 初等・中等教育の再構築

- ① 持続可能な未来を考えるための知識や技能の習得と問題解決能力の育成
- ② ユネスコスクールと大学との連携システムの充実と活用
- ③ 優れた才能や個性を有する生徒の国際水準の知識や技能の育成

(2) 高等教育の再構築

- ① 異分野融合型の教育研究基盤の整備
- ② 大学・研究機関が有する実績と能力を活用するためのネットワークの構築
- ③ 地域ネットワークを統合するメタネットワークの構築

(3) 生涯学習のための地域内連携とステークホルダーの参画の推進

- ① 地域コミュニティの初等・中等教育への参画の推進
- ② 科学館・博物館等を活用した地域密着型的能力開発の推進
- ③ 生涯学習のための初等・中等教育、社会教育、高等教育の連携の推進

地学オリンピック

滝澤豊氏提供



優れた才能や個性を有する生徒の国際水準の知識や技能の育成

地理オリンピック

井田仁康氏提供



持続可能な未来を考えるための知識や技能の習得と問題解決能力の育成

アサギカワセミ、ハイタカ、モズ、ヤマセ、ミアイ、イ、ハルなどのとりがすむ。

大野川



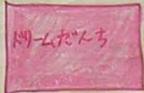
← はこがて



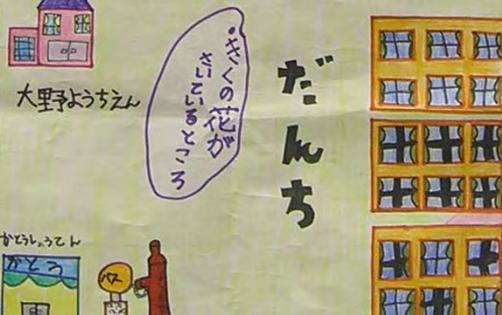
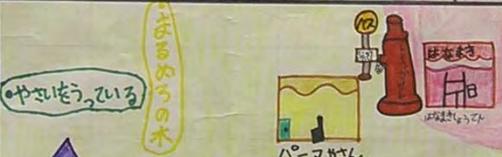
わたしのいえのまわりがきょうちか

- しょうかせんしらべ
- くまのよこめしらべ

ゆきあそびしている



まきようろう ↓

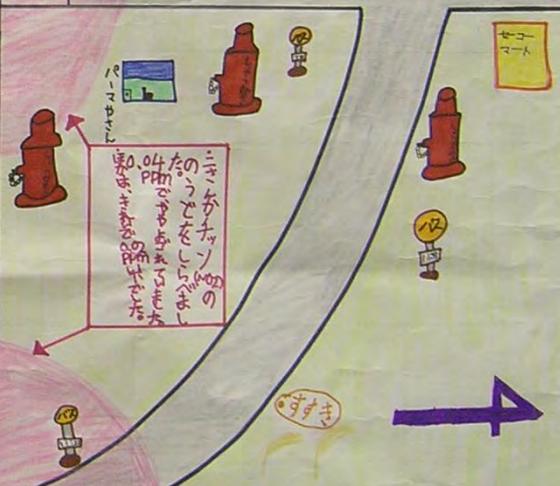


● 公園のたけのこ

↑ えせし



ななえ ↓



小学2年生の環境地図優秀作品

環境地図づくりで高める学力

- 1) 計画立案
- 2) 調査準備
- 3) 調査・観察
- 4) 記録(マッピング)
- 5) 地図作製
- 6) 地図の読みとり・説明
- 7) 発表

総合的科学力, 地域的・空間的視点と知識,
Graphicacy, 地域・環境・地図etc. への関心、小・中・
高・大・社会の連携・・



初等・中等教育の再構築

日本科学未来館



科学館・博物館等を活用した地域密着型の能力開発の推進

プログラム

総合司会 日置光久(日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院教育学研究科特任教授)

開会の挨拶、趣旨説明 氷見山幸夫(日本学術会議会員、北海道教育大学教授)

講演

○持続可能な未来を考えるための知識や技能の習得と問題解決能力の育成

日置光久(日本学術会議特任連携会員、東京大学大学院教育学研究科特任教授)

○地域と学校との連携による持続可能な人材の育成

小金澤孝昭(日本学術会議特任連携会員、宮城教育大学教育学部教授)

○フューチャー・アースに向けた国際的な教育の課題

井田仁康(日本学術会議連携会員、筑波大学人間系教授)

○サステナビリティ学が目指したネットワーク型学術拠点の構築

福士謙介(日本学術会議特任連携会員、東京大学サステナビリティ学連携研究機構教授)

○高等教育機関における専門教育としてのサステナビリティ学教育の試み—理念と手法

味埜 俊(東京大学新領域創成科学研究科教授・サステナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラムコーディネータ)

○臨床環境学—グローバル複合型人材育成のための新しい学理と手法

岡本耕平(日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院環境学研究科教授)

○国際エネルギー・資源戦略を立案する環境リーダーの人材育成について

田路和幸(日本学術会議特任連携会員、東北大学大学院環境科学研究科教授)

○地域コミュニティと共に創る教育

花木 啓祐(日本学術会議会員、東京大学大学院工学系研究科教授)

総合討論・閉会の挨拶

花木 啓祐(日本学術会議会員、東京大学大学院工学系研究科教授)